

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第287号 平成8年11月



『イナゴ』 田村啓彦

目 次

	頁		頁
1. 理事会報告	広報部 … 2	5. 地区だより	
2. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 6	福生地区	
3. 各部だより		「小地域福祉活動、コスモスの会」	
学術インフォメーション	学術部 … 8	西村邦康 … 13	
学校医部よりのお知らせ		6. 伝言板	
学校医部 … 11		音研からのお知らせ	道又正達 … 14
4. 文芸随筆諸事百般		7. お知らせ	事務局 … 15
「2歳、夏の日の思い出」		8. 表紙のことば	田村啓彦 … 16
池谷敏郎 … 12		9. あとがき	小机敏昭 … 16
短歌「親睦旅行」	鹿野純一 … 12		

理事會報告

★ Information

10月定例理事会

平成8年10月8日

西多摩医師会館

【1】 報告事項**(I) 委員会報告**

(各担当理事)

(1) 情報伝達効率化委員会

9月27日に第一回委員会を開催。委員長に青梅の中野先生を選出。平成5年の「医師会あり方委員会」の答申に基づき、情報伝達効率化の具体化を検討していく。月1回のペースで委員会を開催し、来年6月頃には答申をまとめた。

(2) 定款施行規則改定検討委員会

10月7日に開催された。会長選挙問題について各地区での意見を集約。

瑞穂・あきる野地区では選挙に改定するという意見が多数。

青梅地区では現行のままで可との意見が主。

福生地区では選挙に改定するとの意見が多数。

又、B会員の資格について意見交換がなされ、東京都医師会会員であるかどうかを資格要件にしてはどうかという意見が大勢を占めた。

(3) 互助会あり方委員会

10月14日に開催予定。

(II) 各部報告

(各担当部長)

(学術部) 講演会を2回予定。

(広報部) 「健やかTOKYO」の医師会広告掲載予定について報告。

MX-TVによる福生健康まつり取材について報告。

(III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青 梅) 10月15日、役員会予定。

(福 生) 10月4日、議事連絡会議を開催。

(羽 村) 10月15日、連絡会予定。

(あきる野) 10月21日、地区会予定。

(瑞 穂) 80才以上の会員の長寿を祝う会を予定。

【2】 報告承認事項**(I) 入会会員について**

— 承認 — (玉木理事)

【3】 協議事項

- (I) 老健施設等開設同意のあり方及び各保健医療施設への要望書について (坂本理事)
各施設及び新入会員に「要望書」を医師会長名で渡す。
- (II) 平成9年度自治体よりの諸手当について (大堀副会長)
平成8年並のアップ率で要望額を出す。
- (III) 医師会立訪問看護ステーションについて (玉木理事)
羽村・福生・瑞穂地区には訪問看護ステーションが現在ない。医師会立として関わって
いけるかどうか検討していく。
- (IV) その他
11月の福生健康まつりのMXテレビの取材について
— 了承 —

10月定例理事会

平成8年10月22日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

- (I) 都医地区医師会長協議会報告 (宮川会長)
1. 都医からの伝達
- (1) 国民医療を守る医師総決起大会の開催について
平成8年11月19日午後2時より、虎ノ門ホールにて、日本医師会主催で行う。
- (2) エイズ拠点病院におけるHIV検査について
20の拠点病院では術前のHIV抗体検査について保険で認める。
- (3) 新指導大綱の運用について
第1回を10月25日個別方式で、40医療機関について実施する。以後、11月、1月、
3月に分けて合計150医療機関について実施する。集団指導方式については、2月に
240医療機関について行う。
- (4) レセプト開示に関する新聞報道について
本人の請求によりレセプトの開示を求められたら主治医は開示した方が無難である。
- (5) 文化放送「O-157安心情報」について
東京都医師会が協力を行った。

- (6) 病原性大腸菌対策室の解散について
10月17日をもって閉鎖した。
- (7) 単独の訪問看護ステーションに在宅介護支援センターを併設する場合について
一定の条件を満たせば、併設は可能である。
- (8) 訪問看護ステーションの設置状況について
現在、都内113ヶ所。
- (9) 在宅介護支援センターの設置状況について
現在、都内95ヶ所。

2. 協議事項 なし

3. 地区医師会からの報告

- (1) カルテ及びレセプト用紙のA4版への変更について (保谷市医師会)
レセプト用紙のA4版への変更は平成9年4月より実施される。カルテは今まで通りでもよいしA4版でも可。
- (2) 医療法人における厚生年金の問題について (城東医師会)
○ <その後の経過について>
社会保険事務所では年金加入の2年間遡及は決まってない。
○ <今後、このようなことが起きないようにマニュアル化について>
「医療法人運営の手引き」の中で説明している。

- (II) 互助会あり方委員会報告 (玉木理事)
第3回まで開催。互助会の活動内容について検討中。

- (III) 各部報告 (各担当部長)
- (経理部) 事務長給与について次回審議提案。
(学校医部) 11月28日西多摩学校保健連絡協議会開催予定。
青梅の学校保健医会報告。

- (IV) 各地区会よりの報告 (各地区長)
- (青梅) 10月15日役員会を開いた。青梅接骨師会と大規模災害時の協力態勢について合意。定款改定問題については検討委員会の答申を待つ。
- (福生) 訪問看護ステーションについて検討中。
- (羽村) 10月15日地区会。伝染病等治癒後、予防接種までの間隔について基準を設けた。診断書、証明書等の料金の見直しを検討。定款改定については、概ね答申通りとすべきの意見。

(あきる野) 10月21日地区会。

- (1) 予防接種の個別化が更にふえる。
- (2) 市で骨粗鬆症検診予定され、医師会も協力。
- (3) 定款改定について会員アンケートを実施。会長・理事は選挙での意見が70%の結果。

(V) その他

東京都労働保険懇談会報告

(石田理事)

自賠責での請求について解説があった。

労災の東京都方式について将来見直しを迫られる可能性がある。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (玉木理事)

【3】 協議事項

(I) 平成9年度自治体よりの諸手当要望額の件

(大堀副会長)

原案通りで要望する。

(II) 新規入会保健医療施設への要望書

(坂本理事)

原案通り。

(III) 忘年クリスマス会・新年賀詞交歓会等今後の日程について

(片平理事)

忘年クリスマス会は12月16日(月) ホテル福生国際会館にて。会費は去年と同じ。

新年賀詞交歓会は1月25日(土) 青梅福祉センターにて。

(IV) 音響、録音装置破損故障による交換購入時期・見積について

(高水理事)

— 承認 —

(V) その他

1. 自治体国保担当主務者との懇談会日程

11月26日(火) 午後1時30分～

2. 医師会看板破損取り換え

完了報告。

3. 木野村先生入院見舞金について

報告。

会員通知

- 城北ブロック産業医研修会開催について
- 平成8年度第2回子宮がん検診及び第2回大腸がん検診従事者講習会の実施について
- 日本医師会日医日誌の斡旋について
- 学術講演会(10/18)
- 第11回医療とニューメディア、シンポジウムの開催について
- 平成9年度「心とからだの健康づくり指導者養成研修」並びに「健康測定研修」の開催
- 平成8年度都医会主催「日本医師会生涯教育講座」の開催について
- 平成8年度東京都医師会産業医前期研修会の開催について

医師会の動き

医療機関数 183 病院 28
 診療所 155
 会員数 385 A会員 172
 B会員 213

会議

- 10月7日 定款施行規則改定検討委員会
- 8日 理事会
- 14日 互助会あり方委員会
- 18日 在宅難病訪問診療調整委員会
- 22日 理事会
- 23日 会報委員会
- 25日 情報効率化検討委員会

講演会・その他

- 10月8日 整備会
- 9日 法律相談
- 15日 新規指定保険医療機関指導
- 18日 生保指導立会
- 〃 学術講演会
 講師：共済組合連合会立川病院
 脳神経外科部長
 高宮至昭先生
 演題：手術で治せる脳の病気
- 21日 新規指定保険医療機関指導

29日 学術講演会

講師：杏林大学
 微生物学教室教授
 神谷 茂先生

演題：O-157腸管出血性大腸菌
 の病原因子と人畜共通感
 染症

役員出張

- 10月3日 都医師会医政連役員会
- 8日 衆議院議員候補者石川要三氏
 陣中見舞
- 16日 東京労働保険医療協会評議員
 懇談会
- 18日 都医会長会
- 25日 都立青梅看護専門学校戴帽式
- 28日 都医産業医担当理事連絡会

(管理者変更)

- 東京海道病院
 (新) 水上忠臣 (旧) 松平順一
- 鈴木慈光病院
 (新) 荻田和宏 (旧) 橋本正秀

各部だより



学術部

Information



《11月の学術講演会》

多摩医学会学術講演会

11月9日(土) 2⁰⁰ pm～ 於：北多摩医師会館

演題が決定いたしました。○印が西多摩医師会員の演題で、4演題と多くの応募がありました。是非とも御参集賜りますようよろしくお願いいたします。

(講演順)

1. 公立昭和病院医療福祉相談室の現状

公立昭和病院医療福祉相談室 安井満里子 他

2. 自由行動下血圧測定による夜間血圧の臨床的意義 (第一報)

多摩開業医心臓研究会 藤巻正樹 他

3. 水痘ワクチンの効果判定のための追跡調査

山本小児科医院 山本光興 他

④ 頭部CTを用いた要介護高齢者の性格予想の試み

田中堂医院 田中映吾 他

⑤ I 中学校における過去4年間のAIDSに関する意識調査結果報告

小机クリニック 小机敏昭 他

⑥ 結核性髄膜炎の2症例

国保連合会福生病院内科 森 皎 祐 他

7. 夕立単独作業時の雷撃死

国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院
石川 友 衛 他

⑧ 私たちの行なっている手指末節切断の治療

——指再接着術や逆行性指動脈皮弁による指長温存——

高木病院整形外科・形成外科 栗 原 卓 也 他

9. 当院での高齢者手術症例と意義と限界

98才大腸癌手術例の一例を含めて

府中恵仁会総合病院外科 野 上 周 一 他
久留米大学第一外科 山 名 秀 明 他

10. 人工肛門造設患者の看護

——人工肛門管理の不安を軽減し社会復帰への自立をはかる——

医療法人社団 桐光会 調布病院看護部
佐 藤 京 鼓 他

11. 高血圧性脳内出血に対するCT誘導定位血腫溶解排除術

国立病院東京災害医療センター脳神経外科
高 里 良 男 他

12. 汎血球減少から悪性貧血と診断し得た症例

立川中央病院 検査科 村 田 智 他

〈学術講演会聴講メモ〉

平成8年10月18日(金)

演題名：「手術で治せる脳の病気」

講 師：国家公務員等共済組合連合会立川病院
脳神経外科部長 高 宮 至 昭 先生

〈総 論〉

- (1) 脳外科で扱う疾患：頭部外傷・脳腫瘍・脳動脈瘤・脳出血・脳梗塞・脳動静脈奇形・先天奇形・顔面けいれん・てんかん・三叉神経痛・パーキンソン病など。
- (2) 手術の目的
 - (a) 脳の占拠性病変除去による救命・症状の緩和……脳腫瘍・脳出血など。
 - (b) 疾患の進行を予防……脳動脈瘤・脳梗塞・正常圧水頭症など。
 - (c) 機能的手術……顔面けいれん・三叉神経痛・てんかん・頭蓋奇形・パーキンソン病など。
- (3) 手術の基本的考え方
 - (a) すべての脳外科手術の基本は減圧。
 - (b) 神経障害を最小限に。
 - (c) 脳の機能局在→手術アプローチを考える。
 - (d) 脳実質のみならず血管にも注意。
 - (e) 手術のタイミングを考慮。減圧の目的が達せられれば腫瘍も全摘出にこだわらない。

〈各 論〉

- (1) 頭部外傷
 - (a) 頭蓋骨陥没骨折：1 cm以上の陥没があれば手術。放置するとてんかんのフォーカスとなる。
 - (b) 外傷性頭蓋内血腫
 - ① 急性硬膜外血腫：側頭部に多い・頭蓋骨骨折を伴う・受傷後6時間までは増大の可能性あり→特徴的な意識清明期がある・予後良好。
 - ② 急性硬膜下血腫：硬膜下に血腫・脳挫傷を伴う・挫傷脳からの出血又は bridging vein からの出血・意識清明期はない・予後は悪く、脳挫傷の程度により後遺症。
 - ③ 慢性硬膜下血腫：高齢者に多い・男>女・アル中も多い・軽微な外傷の後、1～2ヶ月経って頭痛、片麻痺、言語障害、痴呆様症状などが出現・単純ドレナージ手術を施行。
- (2) 脳血管障害
 - (a) クモ膜下出血：激しい頭痛・頂部硬直及びケルニッヒ徴候（発症直後には出ない）・局所神経症状は少ない・意識障害は一過性か欠如することもある・ルンバールで血性髄液。

(原因と治療) 脳動脈瘤破裂 (70%) ・脳動静脈奇形など。脳動脈瘤の好発部位は I C - P C ・ A com など。5 人に 1 人は多発性。治療はクリッピング・ラッピング・トラッピング・血管内手術。脳動静脈奇形は 20~40 代に好発。てんかん・クモ膜下出血・脳内血腫を起こす。治療は血管内手術・ガンマナイフ (3 cm 以下のもの)

(b) 脳出血：長径 3 cm 以下は保存療法・3 cm 以上又は意識障害が強い場合は手術。

(3) 脳腫瘍

悪性度は細胞分裂性・周辺正常組織との境界・転移性・発生部位によって決まってくる。手術は神経機能保存の大前提で可及的多量切除、時に葉切除も行なう。

(4) 水頭症

V-P シャント・V-A シャント・L-P シャントなどを行なう。

<21 世紀の脳外科展望>

- (1) 診断：MRI ・ MRA の進歩、血管内視鏡、MEG (脳磁図) 。
- (2) 手術：血管内手術、脳組織移植手術、神経内視鏡。
- (3) 放射線療法：ガンマナイフ (脳動静脈奇形・聴神経鞘腫・転移性脳腫瘍・頭蓋咽頭腫・下垂体腫瘍に有効)
- (4) 化学療法：遺伝子治療 + α

以上、脳外科の教科書をコンパクトにまとめたような中身の濃い講演でした。

(文責 野本)

学校医部よりのお知らせ

第12回 西多摩学校保健連絡協議会

日 時：平成 8 年 11 月 28 日 (木) 午後 2 時開会

場 所：福生市市民会館・公民館 3 F

福生市福生 2455

講 演：心の健康と学校

講 師：多賀谷 篤 子 (都立教育研究所主任)

文芸随筆諸事百般

「2歳、夏の日の思い出」

あきる野市 池谷敏郎

平成8年8月に家族で北海道のトマムへ旅行しました。ケーブルカーにのりトマムの山頂で降りると涼しい風がそよそよと吹き、あたり一面に緑がひろがります。とんぼや蝶々を追いかけているうちに、山道の脇に大きな“ふきの葉”を見つけました。「これはカエルさんの日傘だよ。」という大人の説明に疑うこともなくうなずき、自然を体全体で楽しむ桃子2歳の夏の思い出のスナップです。



親睦旅行

鹿野 純一

心配な台風は過ぎバスに乗り
皆にこやかおくれる人なし

終戦後活躍をした氷川丸
歴史を誇り姿を浮べり

ゆれる船強い風ふく甲板で
若い女性髪乱れおり

甲板でベイブリッジバックに写真とり
悩みを忘れ若返りする

バス走りビールを飲んでカラオケは
窓の景色に流されてゆく

日が暮れてバスの窓から赤色の
東京タワー目の前に立つ

地区だより

福生地区

小地域福祉活動、コスモスの会

西村 邦康

秋雨前線停滞の合間の素晴らしい秋晴れの日(10月13日)に福生市の誇る茶室『福庵』でコスモスの会発足の茶会が催された。このコスモスの会は従来の熊牛地域福祉活動推進委員会を新しい福祉インフラの構築と言う時代の要請に応え、より充実した小地域福祉の活動拠点の母体として衣替した会である。

熊牛地域在宅福祉活動推進委員会(コスモスの会)は、昭和60年東京都社会福祉協議会が新事業『小地域福祉活動』の調査、企画のモデルケースの指定小地域として指定されて小地域福祉活動が開始された現在まで地域の多くの人々の協力を得て地域福祉の下支えとなっている。中でも10年前、阿伎留病院、石和温泉病院のリハビリを終えて自宅療養の脳梗塞後遺症の患者さんの介護介助に今と言うホームヘルパーの役割を近隣の人達が行い要介護者、介護者を支えた事は記憶に新しく、また当時自治体ではまだ数少ない緊急通報電話の福生市設置の際の協力員体制や給食ボランティア、福祉ヤクルト配布等々地域の福祉活動を実行してきた実績がある。

今回の茶会は福生市社会福祉協議会と芙蓉の会の協賛で熊牛地区の高齢者、虚弱者、ボランティアの人が多く参加して催された。参加した高齢者の中には、お茶の嗜みなどない、茶会に着ていく着物が無い、人との付き合いは嫌だなどとためらった人もいたが、雨上がりの緑鮮やかな茶室の庭園で天候にも恵まれた野点の茶会の雰囲気感動し参加して良かった、語り合いが楽しかったと喜んでくれた人が多く盛会で有意義な茶会であった。

小地域福祉活動の目的は高齢者のニーズにあった保健福祉メニューを住み慣れた地域で提供して地域の中で生きていて良かったと実感できる生活の環境づくりにあると言える。

その範囲としては小学校区、中学校区、自治会区等が設定されている。またその活動内容は地域の福祉問題の早期発見(高齢者、虚弱者のニーズ)自立支援、助け合い、福祉情報提供、施設利用型在宅福祉サービス事業の展開、緊急対応等々またこれらの支援ネットワークづくり、住民福祉教育等々医療、福祉の統合と社会教育を含む本格的な地域組織活動である。この『小地域福祉活動』と言う文語は医師会ではあまり耳にしない馴染の薄い言葉であるが、これはこれからの高齢社会のキーワードであり我々医師会活動に一つの課題を提起している。現在の医療環境は高齢社会の社会保障制度の再構築(介護保険導入)の観点から社会的入院の解消、老人保険負担の定率化等々医療バッシングとも言える医療費抑制のキャンペーンと、高齢者の医療、福祉は施設(病院、特養、老健施設)サービスから在宅医療福祉サービスに移り重点は福祉主体のシステムとなってきた。

小地域福祉活動は現在我々が在宅医療として推進している訪問診療、訪問看護、訪問リハビリと日常福祉サービスのショートステイ、デイケア、デイサービス等を包含して在宅医療福祉サービスの主体となる可能性がある。医療機能分化の類型として提起されている『かかりつけ医』も地域の中にあつてこそ意義があるのではないかと。競争原理、規制緩和等市場経済優先の社会で社会保障分野にも話題の24時間ケア等のメニューで新医療ビジネスの参入が目論まれている。今まで医師会が唱えてきたフレーズだけの福祉、保健医療の連携では社会の変化に対応できないのではないか、我々も昭和30~40年に構築された医療主体の社会保障観念を変え再編されつつある福祉保健を視野にいった医療の在り方と過剰

福祉ではなく普通の福祉の在り方など21世紀の社会保障政策を提言すると同時に地に付いた地域医療＝小地域福祉活動を推進しなければ到来する医療供給体制の再編下では診療所のサバイバルは無いのではないか。

『コスモスの会』の概要は次の通りである。

(資料)

コスモスの会組織構成、構成員

町会老人会
町会福祉部
福祉推進委員(社会福祉協議会委嘱)
福祉推進協力委員
民生委員
ボランティアグループ
PTA福祉活動 青少協

活動の目的

- 1 地域内実態把握
- 2 老人会未加入者の入会勧誘
- 3 地域内福祉ニーズの把握
- 4 地域内福祉サービスの情報提供

活動内容

敬老会参加
友愛訪問、安否確認
ふれあい型食事サービス
家事援助
仲間づくり 世代間交流 当事者組織化
福寿会機関紙『ふれあい』記事掲載
研修会 福祉懇談会



伝言板

♪ 音楽研究会からのお知らせ ♪

先月24日、研究会は先ず会場玄関先の大型テレビで日本シリーズ巨人軍の敗色をほぼ確認してから研究に入り午後10時に終わりました。下記の曲が、矢継ぎ早に続発、大盛況、音楽的水準も大変ハイレベル。次回より出席者の誕生日を選び毎月催すことになりました。下記曲目が熱唱されました。(出席者11名)

風の盆歌	東京ブルース
愛のくらし	これが本当のゴルフだ
津軽海峡冬景色	銀座の恋の物語
すきま風	風雪ながれ旅
星の流れに	松田聖子メドレー
お座敷小唄	ラブラブラブ
俺の小樽	別れの朝
無法松の一生	すばる
港町ブルース	異邦人
松の木小唄	チャンチキオケサ
むしゃく旅情	サーカスの唄
ユア・チャーティング・ハート	
すごい男がいたもんだ	以上20数曲

♪ 第2回音研のお知らせ ♪

11月16日(土) 午後7時より
カラオケ・BEAT 駐車場完備
福生駅・東口徒歩3分(割烹英勝まえ)
電話:0425(52)6829
当月のお誕生は、川崎 健一郎先生です。
お誘い合わせの上、是非お越し下さい。
会費:5,000円 文責:みちまた

お知らせ

事務局より お知らせ

12月（11月診療分）の

保険請求書類提出日

12月7日（土）

—— 正午迄です。 ——

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 11月は13日（水）
12月は11日（水）の予定です。
 - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙の絵画・写真・御意見・文壇
毎月15日 〆切

原稿募集

原稿
事務局又は
広報委員まで
投稿自由
諸事百般



表紙のことば

『イナゴ』

実りの秋を迎え、黄金色の頭を垂れる稲穂の脇で、飽食し寛ぐイナゴ（稲子）です。

10月上旬に羽村市内の田圃で撮影したのですが、たくさんいたイナゴも刈り入れ後には殆んどその姿を見なくなりました。裸になった田圃と相俟って宴の後のような一抹の寂しさを覚えるのと同時に深まりつつある秋を実感します。

田村啓彦

あとがき

もう11月、今年も残りがわずか、1年たつのが早い。1996年は、AIDS・病原性大腸菌O-157・狂牛病……など、微生物の話題がたえなかった。いよいよヒト社会への攻撃が始まった。どう対応して行けばよいか、真剣に考える時代のようなのだ。

小机敏昭



『忘年クリスマス会』

12月16日（月）

午後7時30分

ホテル福生国際会館



地区及び会員の相互理解の増進と

地域医療の発展をめざして

社団法人 西多摩医師会

平成8年11月1日発行

会長 宮川栄次 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 樋口昭夫

石井好明 片平潤一 百瀬真一郎 高水松夫

田村啓彦 奥野 仁 小机敏昭

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

R
ETAIL BANK
あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。



あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代) ㊦198	青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代) ㊦198-02	西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代) ㊦198	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代) ㊦198	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代) ㊦197	福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代) ㊦208	武蔵村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代) ㊦197	あきる野市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代) ㊦205	羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代) ㊦190-01	あきる野市五日市840-1



健康な明日へ。

大切な生命を守る医薬品を
より速く、より正確にお届けするために
私たちは努力をつづけています。

必要な医薬品を、必要なときに、必要なだけお届けすること
それが、クラヤ薬品の使命です。そのために私たちはいろいろな
システムを開発してきました。

クラヤ・オーダーエントリー・システム…KOSもそのひとつ。お得意さまとコンピュータによるネットワークを結び、医薬品の自動発注から在庫管理までをこなす、画期的な情報伝達システムです。さらに、ポータブル端末による受注データ転送システム、バイクによる緊急配送システム…KESなど、お得意さまのニーズにお応えする新しい流通システムづくりを、一步一步すすめています。

医薬・医療品総合商社

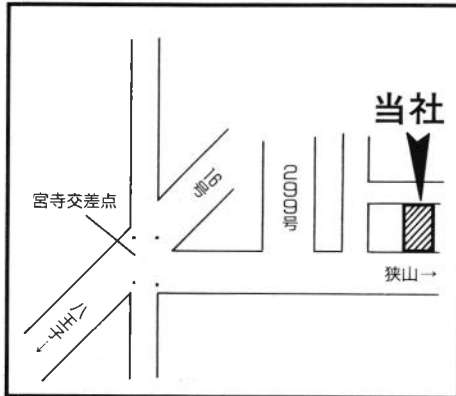


クラヤ薬品株式会社

本社 ㊦101 東京都千代田区外神田1丁目1番5号 ☎03-253-8161(代表)

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア

保健科学研究所

本社 〒240 横浜市長谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)

仙台支社 〒983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-238-9345(大代表)